

令和8年度 日南町立認定こども園・小学校・中学校 経営方針(こども園)

1 こども園・学校 経営の基本理念

- (1) 「子どもの権利条約」の4つの原則「命を守られ成長できること」、「子どもにとって最もよいこと」、「意見を表明し参加できること」、「差別のないこと」を尊重し、すべての子どもの人権を第1に考えた保育・教育を積み重ねていきます。
- (2) 「日南町園・学校運営協議会」の設置により、各園・学校に保護者や地域住民が参画することを通して、「地域とともにある学校づくり」を行い、日南町ならではの創意工夫された特色ある園・学校づくりを推進していきます。
- (3) 「日南町の子どもの教育在り方検討会答申」の具現化に向け、「持続可能なふるさと日南」を創る1歳からのカリキュラムの在り方を検討し、1歳から18歳までの教育内容の充実に向けた「オール日南」の協働的な教育環境を整えていきます。
- (4) 「日南町こども園・小学校・中学校一貫教育(学び舎にちなん)」を実践し、組織的に「学び続ける力」「関わり合う力」「ふるさとを愛する心」の育成をめざし、各発達段階に応じて、意図的・計画的で科学的根拠のある教育実践を園・学校と家庭・地域が協働して展開していきます。

2 日南町の教育目標

「ふるさとを愛し、豊かな人間性と生き抜く力を育み、

持続可能な未来を創造する優れた人材を育成する」

3 園訓・校訓

『生き抜く力』

～ 見つめよ自己を 求めよ友を 惜しむな汗を ～

4 園・学校の教育目標

「ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く子どもの育成」

5 めざす園・学校像

- (1) 夢や目標に向かって努力し、お互いの人権を尊重し、仲間と協働できる子ども
- (2) 子どもの成長を園・学校と連携をとりながら、一緒に見守り支えていける保護者
- (3) 地域全体で日南の子どもの成長に関わっていける地域住民
- (4) 教師としての誇りを持ち、自ら研鑽を積む教職員

認定こども園

6 めざす子ども像

*学び続ける力…自分の考えを持ち、遊びきる子ども

*かかわりあう力…自分を好きになり、友達(人)を大切にすること

*ふるさとを愛する心…地域に触れ、地域に親しみ自分を表現すること

7 めざす教職員像

(1) 子どもが「あそびきる」ために必要な環境を整え、子どもの「あそび」の伴走者としての教職員

(2) 「共存共栄」を掲げ、保護者や地域の方々と共に学び、感謝の心を持って歩み続ける教職員

(3) まずは教職員自身が自分を認め、自己肯定感を育む心の鏡としての教職員

8 経営のテーマ(キャッチフレーズ・キーワード)

『しっばいは未来のたねまき』

～地域とかかわり、異年齢で育ち、大人も子どもも試行錯誤～

9 教育目標実現化のための重点事項及び具体的な方策

基本理念のもと、どこにいても「ふるさとにちなん」に感謝し、夢を持ち、主体的に考え、選び、自分の人生を豊かに創造し、多様性を認め、出会った人との対話を通して、ともに協力して困難も乗り越えられる力を育てていきます。

非認知能力の育成

(重点事項1)【学び続ける力】

○初めてのことに挑戦し、失敗したことを再度やってみることで「自分はやればできる」と信じられる。(自分を信じる力)

- ・講師派遣研修(せいが子ども園)の学びを実践の場で振り返り、日南町の見守る保育を確立していく。
- ・STEAMS教育を通じ、子どもたちが自ら考えて答えや遊びを創り出し、試行錯誤を繰り返しながら挑戦し続ける力を育む。
- ・絵本の読み聞かせやメディア利用、社会性の発達を柱とし、保護者とともに家庭教育の重点を見出し、支えていく。

(重点事項2)【かかわりあう力】

○自分の気づいた事や気持ちを言葉で伝えることができる(自分の思いや考えを発信する力)

- ・選択制、習熟度別、順序性、年齢別など、活動のねらいに合わせた集団を形成し、かかわりあう力を育む。
- ・「共存共栄」の理念に基づき、友達への配慮を持ったかかわり方について、大人も子どもも意識してかかわる。
- ・大人が問題を解決せず、子ども同士で助け合ったり、失敗から立ち直ったりするのを待つ姿勢を共通理解する。

(重点事項3)【ふるさとを愛する心】

○地域の人とかかわりの中で新たな自分や自分の良さに気づく(地域を知り自分を知る)

- ・SC交流(スポーツクラブ)では年間を通して身体作りに取り組み、その成果を運動会で表現していく。
- ・CS交流を充実させるとともに、生活場面でも地域の人と交流し認められることで、自己肯定感を高める。
- ・0歳児から年間計画に沿って定期的に英語に触れ、多様な音や表現に親しむ中で、言葉の壁を感じることなく意思疎通を図る体験を積み重ね、豊かなコミュニケーション能力の基礎を育む。

10 園経営の改革プラン

①めざす教職員像の変容

1. 「教える人」から「あそびの伴走者」へ

子どもの「あそびきる」姿を主軸に置き、教職員はその隣で歩む「伴走者」へと変容し、教え導く立場から子どもの内発的な動機に寄り添うパートナーへと進化していきます。

2. 「対話と寄り添い」から「共存共栄と感謝」へ

「共存共栄」の理念もと、保護者や地域と「共に学ぶチーム」として、感謝をベースとした「協調的な関係性」を目指していきます。

3. 「スキルの引き出し」から「自己肯定感の鏡」へ

まずは教職員自身が自分を認め、教師の心の安定が子どもに投影される「心の鏡」となり、自分自身の「在り方」「内面の成熟」に向き合います。

②経営のテーマ(キャッチフレーズ・キーワード)

1. 主体性を一歩進め、失敗を恐れず挑戦する「レジリエンス(折れない心)」や、努力する自分を認める「成長マインドセット」を大切にしていきます。

2. 大人も共に迷い、改善する姿を見せることで、組織全体が「学びの共同体」へと変容していきます。

③教育目標実現化のための重点事項及び具体的な方策

令和8年度より取り組む「日南町で育む非認知能力」の行動指標を、【学び続ける力】【かかわりあう力】【ふるさとを愛する力】の重点目標に掲げ、非認知能力の育成に力を入れていきます。